



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場会社名 株式会社 東京一番フーズ 上場取引所 東
 コード番号 3067 URL <http://www.tokyo-ichiban-foods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 大地
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 井野 一三美 (TEL) 03-5363-2132
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,959	3.6	492	29.4	511	28.8	296	3.3
25年9月期第3四半期	2,855	1.9	380	2.1	396	2.2	287	△3.4

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 296百万円(3.3%) 25年9月期第3四半期 287百万円(△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	34.68	34.22
25年9月期第3四半期	33.57	33.29

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,053	1,618	77.7
25年9月期	1,608	1,318	80.7

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 1,595百万円 25年9月期 1,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—		
26年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,577	6.1	265	26.4	280	21.9	172	△17.3	20.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年9月期3Q	8,640,500株	25年9月期	8,637,500株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	87,564株	25年9月期	87,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年9月期3Q	8,551,606株	25年9月期3Q	8,549,974株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策および日銀の金融緩和政策により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外においては、欧米では景気持ち直しの動きがあるものの、中国経済が低調なまま、先行き不透明な状況で推移しております。

外食産業においては、原材料価格や電気料金等のコスト上昇に伴う収益圧迫、消費税の引き上げによる個人消費の動向変化など、経営環境は依然厳しい状況が続いております。一方、東京オリンピック開催が決定したことに併せて、「和食」がユネスコ文化遺産に登録される等、日本食に対する注目が高まってきており、外国人旅行者の需要に対する期待感が高まってきております。

こうした状況のなか、当社グループは、6次産業化の拡大を推し進めるにあたり、5月に「魚王KUNI 下北沢」をオープンし、鮮魚業態を拡大してまいりました。「おいしい寿司と活魚料理 魚の飯」・「うまい寿司と魚料理 魚王KUNI」において当社子会社である株式会社長崎ファームで育てた「平戸本まぐろ 極海一番(きわみいちばん)」及び「長崎ハーブひらまさ」を定番商品として販売し、ブランド化を進めた結果、順調に業績を伸ばしております。

主力業態の「泳ぎとらふぐ料理専門店 とらふぐ亭」では、観光ガイドと提携することで外国人旅行者を誘致し、また、期間限定の特別メニューとしてとらふぐの白子を贅沢に使用した白子酒など新メニューを導入した結果、売上は堅調に推移しました。また、天然ふぐ料理を3,000円台の価格帯で満喫できる「ふぐよし総本店」は好調に業績を伸ばしております。

今後も、高品質な食材をお値打ち感のある価格で提供する方針を維持しつつ、店舗展開を図ってまいります。

さらに、4～6月にかけてヒラマサがシーズンを迎えたため、大きく育ったヒラマサを出荷し、夏場に向けて順調に出荷量を伸ばしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高29億59百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益4億92百万円（前年同期比29.4%増）、経常利益5億11百万円（前年同期比28.8%増）、四半期純利益2億96百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて4億64百万円増加し、13億53百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億50百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、7億円となりました。これは主に、減価償却費を22百万円計上したことによる減少です。

(流動負債)

当第3四半期末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億41百万円増加し、4億19百万円となりました。これは主に、未払法人税が1億73百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、16百万円となりました。これは主に、長期前受収益が3百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べて2億99百万円増加し、16億18百万円となりました。これは主に、四半期純利益2億96百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております業績予想から変更はありません。

なお、当社グループにおいては通常の営業の形態として、第1四半期及び第2四半期におけるふぐの需要が大きいため、第1四半期及び第2四半期と第3四半期及び第4四半期の業績に著しい季節的変動があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	604,310	1,054,816
売掛金	44,000	43,594
仕掛品	142,565	147,211
原材料	40,296	47,285
その他	57,465	60,577
流動資産合計	888,638	1,353,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,266,987	1,266,987
減価償却累計額	△1,107,361	△1,120,974
建物及び構築物(純額)	159,625	146,012
機械装置及び運搬具	19,128	17,803
減価償却累計額	△15,983	△16,005
機械装置及び運搬具(純額)	3,145	1,797
工具、器具及び備品	290,910	293,668
減価償却累計額	△272,448	△278,749
工具、器具及び備品(純額)	18,461	14,918
土地	147,365	147,365
建設仮勘定	1,691	1,691
有形固定資産合計	330,288	311,784
無形固定資産		
ソフトウェア	1,443	1,047
無形固定資産合計	1,443	1,047
投資その他の資産		
敷金及び保証金	368,204	368,614
破産更生債権等	21,478	21,478
貸倒引当金	△21,478	△21,478
その他	20,063	18,933
投資その他の資産合計	388,268	387,547
固定資産合計	719,999	700,379
資産合計	1,608,637	2,053,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,633	41,571
1年内返済予定の長期借入金	5,038	—
未払金	114,659	95,809
未払法人税等	24,436	197,920
賞与引当金	15,390	4,077
その他	61,261	79,668
流動負債合計	277,419	419,046
固定負債		
その他	12,772	16,711
固定負債合計	12,772	16,711
負債合計	290,191	435,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	472,295	472,806
資本剰余金	374,295	374,806
利益剰余金	481,829	778,411
自己株式	△30,339	△30,357
株主資本合計	1,298,080	1,595,666
新株予約権	20,365	22,440
純資産合計	1,318,446	1,618,106
負債純資産合計	1,608,637	2,053,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,855,682	2,959,363
売上原価	770,397	797,247
売上総利益	2,085,284	2,162,115
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	477,970	440,123
雑給	196,197	191,588
賞与引当金繰入額	4,455	4,077
広告宣伝費	17,169	13,392
販売促進費	11,617	14,694
地代家賃	319,692	319,897
減価償却費	24,220	20,607
その他	653,399	665,324
販売費及び一般管理費合計	1,704,721	1,669,705
営業利益	380,562	492,409
営業外収益		
受取利息	169	126
受取配当金	—	4
協賛金収入	5,889	9,391
負ののれん償却額	3,861	—
その他	7,451	9,411
営業外収益合計	17,371	18,933
営業外費用		
支払利息	743	44
支払保証料	320	—
その他	119	222
営業外費用合計	1,184	266
経常利益	396,750	511,076
特別利益		
新株予約権戻入益	1,992	569
特別利益合計	1,992	569
特別損失		
固定資産除却損	33	75
特別損失合計	33	75
税金等調整前四半期純利益	398,708	511,569
法人税、住民税及び事業税	111,675	214,988
法人税等合計	111,675	214,988
少数株主損益調整前四半期純利益	287,033	296,581
四半期純利益	287,033	296,581

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,033	296,581
四半期包括利益	287,033	296,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,033	296,581

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

当社グループにおいては、飲食事業及び水産物の販売を行っております。水産物の販売は重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。